

産学官金連携プロジェクト 深海探査機「江戸っ子1号」

東京東信用金庫お客様サポート部
中小企業応援センター担当
コーディネーター 桂川正巳



江戸っ子1号プロジェクトとは

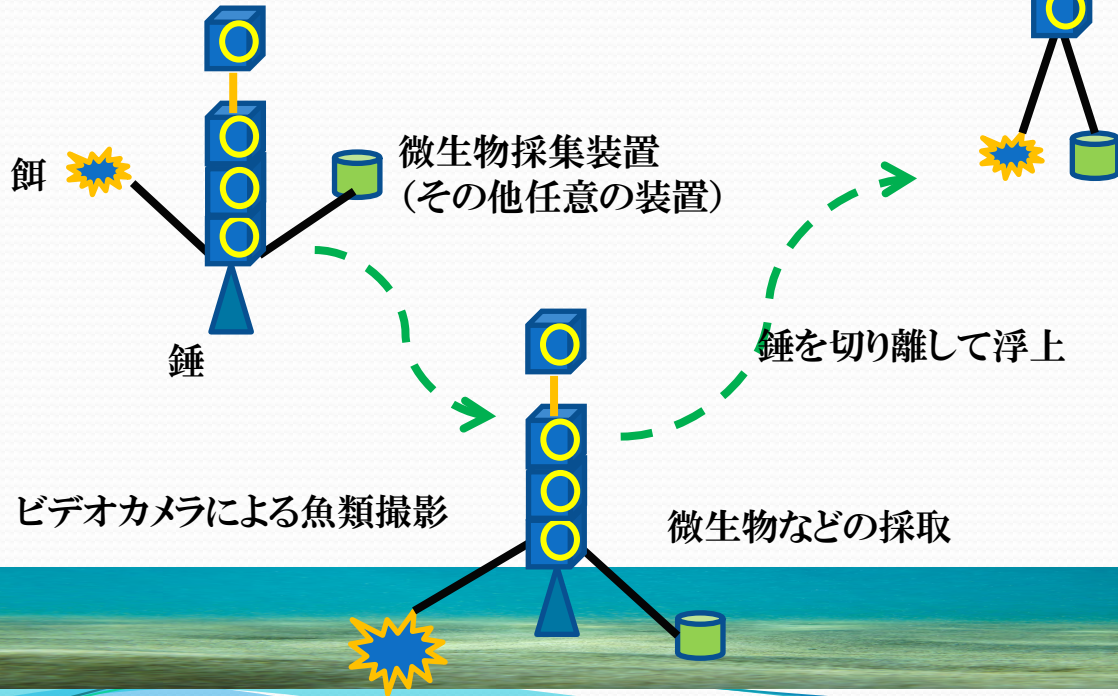
町工場の活性化・技術伝承と下請け体質からの脱出 産学官金連携を活用して開発 事業化へ

- 葛飾区のごム製品開発の社長から下町企業の活性化と技術の伝承、下請け体質からの脱出を目指し、大阪のまいど1号にならって海底探査機開発の提案がある
- 地元の東京東信用金庫が進めている中小企業の技術支援システムを利用して、芝浦工業大学や東京海洋大学との産学連携を模索し、海洋研究開発機構の支援をとりつける
- 産学官金に加え、多くの善意の協力者の支援により開発進行
- 開発の進展に伴い、専門企業も巻き込んだ本格開発に発展
- 基本部材の国産化を達成
- 8000mの実験成功により、本格事業化の可能性が見えてきた

江戸っ子1号の基本動作



漁船などの小型船舶の支援船から投下



ガラス球を浮力体兼
圧力容器として使用

機体を錘で沈め、ビデオ撮影・生物採取をして錘を切り離して浮上します

江戸っ子1号の構成

海中では電波が通じないので、音波を使います
船からの音波信号を電流に変え、音波を使います
電流を電蝕装置で切離します

